

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成 30 年 5 月 19 日(土)15:00～16:30	開催会場	土田地区センター
出席議員	川上文浩 勝野正規 澤野 伸 可児慶志 山田喜弘 大平伸二 天羽良明 高木将延 伊藤健二 川合敏己		
班長	澤野 伸		
参加者数	19 名		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度予算報告</li> <li>・定数・報酬</li> </ul>		
質疑および 主な意見 等	<p>&lt;第 1 グループ&gt; 報告者 澤野 伸 記録者 可児慶志</p> <p><b>テーマ</b>「議員の定数と報酬について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月平均活動量はサラリーマンと比較すると少ない。これだけでは、議員活動の実態が理解しづらい。</li> <li>・市民が議員報酬を論じることは難題である。地域活動を市民と一緒にやって行い、日常的に意見交換を行い、要望の実現をしてほしい。今後とも応援をしていきたい。</li> <li>・定数・報酬の論議は生々しい。政務活動費の使途に問題も発生しているが、活動量の格差は政務活動費で補うことはできないか。</li> <li>・全般的な他市との比較がないのでよくわからないが、市民が反対する根拠もない。</li> <li>・議員に期待することは、行政のチェックと民意の反映です。そこから議論を重ね政策に反映してください。</li> <li>・市民が意見を言いやすいように心がけて欲しい。声を掛け合うだけでも親しみやすくなる。</li> </ul> <p>『総務企画委員会所管分』</p> <p>「東美濃ナンバーについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光面では問題ないが、可児市は東濃よりも尾張に近いイメージがあり、選択肢がないこともあり抵抗感を感じる。</li> <li>・「東美濃」は知名度がない。朝ドラだけで知名度が高まるとは思えない。</li> </ul> <p>「住みよいまちについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住みよいまちを実感するが、さらに向上させてそのテーマに恥じないまちづくりを推進してほしい。</li> </ul> <p>『建設市民委員会所管分』</p> <p>「建設事業について」</p> <p>土田多目的広場の建設や、建物の耐震化、道路の維持管理を適正に推進していただき感謝しています。</p> <p>「市道 112 号線について」</p>		

渋滞緩和や事故防止のために順調な改良工事の推進を期待します。

「観光事業について」

外国人観光客の増加だけを対象とすることなく、山城や大河ドラマが決定した明智光秀などを活用し、岩村で五平餅が食べられないほどの盛況になっているのを可児市も見習ってほしい。

『教育福祉委員会所管分』

「健康増進について」

介護保険が増加している。ウォーキングなどをさらに推進し病気にならない体づくりを進めて欲しい。市でもらった万歩計はきっかけづくりになり愛用し、宝物になっている。

「二学期制について」

岐阜県では二学期制を選択制にしている。高校などでは元に戻すところもあり、夏休みや冬休みなど区切りの仕方を検証して良い方向へもって行ってほしい。

< 2グループ > 報告者 天羽良明 記録者 高木将延

『総務企画委員会所管分』

「防災について」

- ・FM 割込み放送等は、耳の不自由な方へはどのような対応があるのか。
- ・メール配信は年配の方には難しいか。
- ・不自由な方へは、自治会や民生児童委員の協力を得ながら地域で対応するしかないのか。
- ・備蓄倉庫に何が備蓄されているのか、確認したい。
- ・発電機等、いざという時に動かないと意味がない。平時から動作確認するよう、市で指導してほしい。

「東美濃ナンバーについて」

- ・アンケートでどちらでもよいとの回答が多いのは、そもそも知られていない、周知不足ではないか。
- ・自治連は協議会に残った。中にいてやれることもある。

『建設市民委員会所管分』

『教育福祉委員会所管分』

「マーノについて」

- ・使い勝手が悪い。
- ・以前と同じことをやっても、人が集まらない。
- ・スタッフ用駐車場が遠い。

「外国籍児童への対応について」

- ・もう少し細やかな対応をしてほしい。美濃加茂はしっかりしている。

・授業内容が分からないのはつらい。子どもたちには楽しく学校に通ってほしい。

「民生児童委員について」

- ・引き受けてもらえる人が少ない。実際欠員も出ている。
- ・民生さんの負担が大きいのでは。

『その他』

「定数報酬について」

- ・物価も上がっているのに、報酬が上がるのも納得できる。
- ・年金がないのは大変ではないか。
- ・成り手不足にならないようにしてもらいたい。
- ・適切な報酬をもらって頂いて、市民の為に頑張ってもらいたい。
- ・可児市議会は若い議員さんが多いと感じた。
- ・市民では仕事量がわからない。
- ・教育と福祉を担当する委員会が同じなのは大変に思う。委員会の数が3つなのは少ないと思う。
- ・市民と近い位置にいて、昼夜問わず仕事しておられ、大変。
- ・議員さんの個人差があるのでは。
- ・自治連要望は県内比較を根拠にしている。定数は可児より人口が多い多治見が20名としている。報酬は上げてもいいと思う。話題として取り上げていることこそが、市民の意見が議会に届いていることになると感じる。

< 3グループ > 報告者 山田喜弘 記録者 大平伸二

第1部 「平成30年度予算編成についての質疑」

『総務企画委員会所管分』

「東美濃についての質問」

質)東美濃の名称はどのような経緯で出てきたのか？東美濃ナンバー協議会予算を観光振興に組み替えた経緯を聞きたい。

答)まず「東美濃」の名称は可児、美濃加茂を含む東濃6市地区の歴史上で出てきているが、特に当地区は県内行政区分で中濃地区との認識が浸透しているため「東美濃」の名称になじみがないのではないかと。また、東美濃ナンバー協議会予算を観光振興に組み替えた経緯については、議会の中でも賛否もありましたが全体予算額は同額で観光振興に組み入れることで可児の観光PR予算に賛成多数で採決されました。

【要望】今後、東美濃協議は経済、観光を連携していく上で必要であるが、東美濃ナンバーばかり先走りして「東美濃」の認知度を高める取り組みをするべきではないかと。特に観光連携では山城を含め木曾川の観光資源（木曾川左岸遊歩道）を活かす為にも取り組んで欲しい。

答)経済、観光も連携は大切です、議会としてどのように取り組むか協議していきます。

「岐阜医療科学大学についての質問」

質)岐阜医療科学大学の18億円は来年度へ繰り越すのか?

答)まだ方針が出ていないため回答ができませんが、やはり岐阜医療大学は今後、可児市民のために成ると考えています。

『教育福祉委員会所管分』

質)他市では待機児童、園児の問題が出ているが可児市ではどうか?また他市で2人以上幼稚園、保育園に預けると別々のところでしか預かってもらえず困っていると聞きますが可児市の現状はどうか?

答)現在、可児市では今のところ待機児童が多く出ているとの報告はありません。また、可児市には未満児と園児を同じ系列で預かる所もあります。

可児市キッズクラブでも昨年までは一部の地域で高学年の待機児童が有りましたが本年度は解消される予定です。

『広報特別委員会所管』

【要望】 「議会のトビラ」の編集で、P3の平成30年度会計予算とP4予算編成4つの柱と主な事業の連動が解りづらい、今回報告会で説明を受けて理解できたが報告会で説明を聞けない時は解りづらいので編集を考えてください。

答)広報委員会で検討します。

第2部 「可児市議員の定数、報酬についての意見」

\* 議会の活動はまだ解りやすいが、個々の議員の活動がみえてこないので中々判断が出来ない。

\* 議会としての活動はマニフェスト大賞を受賞されるくらい活動されているが議員個々の活動がもっとみえてれば定数においても現在の22名が妥当で報酬も活動に合った対価でいいのではないかと。

\* 過去の市長選挙、市議会選挙の投票率をみると大変投票率が低くとても市民すべての信任を受けているとは言い難いのではないかと、議員の定数、報酬を語る前に投票率を上げる努力をすべきではないかと。

『その他』

「東美濃」のナンバー問題より前の名称とルーツの理解が市民にされていないと感じ今後どの様にPRしていくか課題である。また、岐阜医療大学をなぜ誘致したか18億の債務負担と今後の取り扱いは市民に会を重ねて丁寧に説明をしていかなければならない。「定数、報酬」については定数は現状で、報酬増については理解して頂いていると感じた。

追伸、2,3の参加者から、せっかくの議会報告会で議員と意見交換ができる機会なので議会のトビラを使って説明時間が長く説明だけを聞きに来たのではなく議員との意見交換ができるから出てきているので意見交換の時間をもっと作ってほしいと要望がありました。

< 4グループ > 報告者 伊藤健二 記録者 川合敏己

テーマ「議員の定数と報酬について」

- ・可児市は狭い面積の市である。一般世間では、中小企業では給料は上がっていない。厳しい財政の折、しっかり活動をして1万、2万なり報酬を上げるのであれば定数減を行い予算内で収まるように分配するのが市民感情ではないかと思う。(2名の意見)
- ・ 政務活動費の執行率はどれくらいか。(回答済み) また政務活動費年24万円(月2万円)はたったのそれだけなのか。それなら政務活動費については何も言わない。(4名の意見)
- ・ 議員のなり手不足について、過疎の田舎と、可児市を一緒に考えるべきではないと思う。(1名の意見)

『総務企画委員会所管分』

「東美濃ナンバーについて」

- ・ 東美濃という馴染みのない名称のナンバーの話が急に出てきた感が否めない。岐阜ナンバーのままでよい。(3名の意見)
- ・ 今後の可児市を含めた東美濃地域の観光促進、発展のためにも東美濃ナンバーは実現すべきである。議会も応援して欲しい(1名の意見)

『予算決算委員会所管分』

「岐阜医療科学大学について」

- ・新しく薬学部を新設して上手くいくか心配である。将来に繋がる誘致となつてほしい。
- ・18億の投資をするのだから、名城大学の二の舞とならぬように長期的に根付いていただけるようにしっかりと担保するべきである
- ・生徒は、できる限り犬山駅ではなく西可児駅の活用を促進するにはたらき掛けて可児市の発展を考えるべきである。

『その他』

「市役所内の改革改善について」

- ・富田市政になってだいぶよくなったとはいえ、市役所内で改革改善の発表会を行ったりしてもっと良くして欲しい。

平成30年5月24日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 土田地区センター会場 班長 澤野 伸

